

このニュースはFAXとメールで送信しています。地域民報への転載、各支部への配布にご活用下さい。

さっぽろ

市議団ニュース

2014年11月7日

No.123

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

“雪国さっぽろ”、市民が気軽にウインタースポーツに親しめるように 井上ひさ子議員が質問

日本共産党の**井上ひさ子議員**は30日の札幌市議会決算特別委員会で、スポーツ振興施策について質問しました。

井上議員はウインタースポーツの活性化について、アンケートで「ウインタースポーツをしたくない」が多く、その理由としては「道具が高い」「時間がない」「きっかけがない」「施設料金が高い」などの声が多く挙げられていることを示しました。

井上議員が「歩くスキーは身近なところででき、女性や高齢者にも好評だ。無料でスキー道具を貸し出している中島公園のコースでは昨年度の利用数が5313件と、他の有料貸し出しのコースよりもずっと多く、海外からの観光客も気軽に雪に親しむことができる。貸し出しをしていない4コースについても近隣のコースから道具を借りるなど工夫して、貸し出しを行ってはどうか」とも求めたところ、観光文化局の**西田健一スポーツ部長**は「コースを運営している事業主体はそれぞれ違うが、実績や利用者の要望を見きわめ、管理者へ働きかけていく」と前向きな答弁しました。

高機能ホール、複数台のエレベーター設置を 伊藤りち子議員が質問

日本共産党の**伊藤りち子議員**は30日の札幌市議会決算特別委員会で、市街地再開発事業によって北1西1街区に建てられる市民交流複合施設の高機能ホールについて質問しました。

オペラやバレエ公演も可能な高機能ホールは、4階にロビーと受付がおかれ、5階から9階までが客席という高層建築の計画で進められています。4階～9階までのホール専用エレベーターが27人乗り1基のみの設置とされていることについて、**伊藤議員**は「公演終了後に2300人がいっせいに移動を始めたら時間がかかり、混乱するのではないか。高齢者や車いすの方、足腰の不自由な方などもスムーズに移動ができるよう、安全面の上でもエレベーターの設置を増やすべきだ」とただしました。

観光文化局の**林信一市民交流複合施設担当部長**は「ホール内の主たる導線はエスカレーターで、エレベーターは車いすや歩行困難な方の優先利用を想定しており、一基で運用可能。災害時にはホールスタッフ等が誘導し、車いすごと担いで降りたり、車いすを置いておぶって避難階段を降りたりする」と答えながらも、「運営の面での対応を十分検討し、安全でスムーズな移動が確保できるようにしたい」と述べました。